

4. 研修内容

①全体観光（シンガポールの主要な観光地を見学）

- ・シンガポールの風土や文化についての見識を深める
- ・集合写真撮影

②班別行動（異文化に触れ、国際理解を深め、見聞を広める活動）

- ・協働での活動を通じ、調べ学習、計画立案・実行力の育成、海外を主体的に歩く経験をする

③National University of Singapore (NUS) シンガポール国立大学

- ・探究学習発表プレゼンテーション（島前地域の魅力・課題・可能性）
- ・総合的な学習の時間、地域生活学、英語などの授業で学んだことを発揮する。
- ・現地で学ぶ学生との交流を通じ、将来の進路設計につなげる

④ホームステイ

- ・現地の人々と生活を共にし、現地の人々とつながる

⑤現地日本企業訪問及びその企業で働く社会人へのインタビュー

- ・これから求められる人材像を学ぶ
- ・グローバルな視野で物事を考える力を養う

5. 宿泊先

YWCA FORT CANNING LODGE (YWCA フォートキャニングロッジ)

住所 : 6 FORT CANNING ROAD SINGAPORE 179494

6. 引率者(役割)

校長 井筒 秀明 (引率責任者)

主幹教諭 高相 恵美 (涉外・会計)

教諭 高松 芳弘 (涉外・研修)

教諭 吉野美桜子 (生活・研修)

養護教諭 藤田 順子 (保健・記録)

魅力化C 魅力化C 山野 靖曉 (研修・記録)

魅力化C Gisele Berzenye (涉外・研修)

添乗員 日本旅行 Tis 松江支店 2名

1. 説明会の流れ

(1) 学校より (司会: 魅力化コーディネーター 山野)

①挨拶 (校長)

②学校から概要説明

・研修旅行の目的や選定理由について (学年主任 高松)

・引率者紹介 (校長)

③旅行会社から概要説明

④持ち物や注意事項について (高松)

⑤健康管理について (生徒部: 保健 藤田)

(2) 旅行会社より (日本旅行 Tis 松江支店担当者)

・行程、保険、海外旅行における注意点について

・その他

(3) 質疑応答

2. 研修旅行の目的

海外との交流や異文化に触れる体験を通じ、新たな気づきや感動を得るとともに、自身の学習・生活経験も含めた自国や郷土の文化・伝統を見つめ直す機会とする。また、これまでの学習成果を発揮、実践することにより、今後の課題を認識し、高校生活後半の内発的意欲を高める。

3. 旅行先と選定理由

【旅行先】シンガポール

【選定理由】

シンガポールは犯罪率が非常に低く、安心して旅行できる国の一である。複合多民族国家でもあり、隣人や異なる価値観の人を思いやる精神をもった優しい民族性に触れ、相互理解・多文化共生の概念を体感することができる。また、同じ島という地域性を持ちながらも、「都市型モデル」という真逆の方向性を持つシンガポールに飛び込むことで、島前の魅力や課題、可能性を新たに見出せると考える。

7. 持ち物リスト

【必須】

- パスポート 旅行のしおり 発表用資料（筆記用具含む）
 制服（夏服）・着替え（5日分） タオル類（ホームステイ先で使用） 小遣い

【任意】

- 洗面用具 シンガポール観光パンフレット 変圧器・変換プラグ（BF Type）
 薬（酔い止め・鎮痛剤・常備薬） デジタルカメラ・充電器
 ティッシュ・ハンカチ マスク 避暑グッズ（汗ふきシートなど）
 ビニール袋 折り畳み傘 携帯電話（スマートフォン）・充電器
※携帯電話（スマートフォン）の使用はカメラ機能に限る

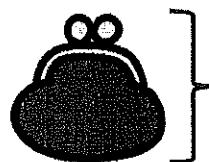
【学校として持ち込みを禁止するもの】

- ・ゲーム機器
- ・ドライヤー、アイロン類
- ・サンダル
- ・雑誌やマンガ類

【小遣いについて】

○日本円とシンガポールドルの両方が必要になりますが、現地についてからバス内で換金をするので、個人的に日本で準備する必要はありません。なお、必ずかかる費用として、日本国内での食事（12日夕食）、現地での食事（13日昼食、夕食、14日昼食、15日昼食）、現地での交通機関（地下鉄）利用往復約3回があります。積立徴収とは別に発生するものなので準備をしてください。どの程度のお金を持っていくのかはご家庭で相談の上、決定してください。

下限は¥15,000、上限は¥30,000 とします。



内訳

- ・食事代（12日夕食（羽田） 13日昼食、夕食 14日昼食 15日昼食）
- ・地下鉄運賃（3往復程度利用の可能性）
- ・残りは各自お土産代、現地での買い物代となります。

参考：1シンガポールドル=約78円（2019年10月5日現在）

	シンガポール	日本（東京）
電車（M R T）	1駅：1.4ドル（110円）	-
フードコート	5ドル（390円）	1,000円
レストラン	30ドル（2,340円）	1,500円
コンビニエンスストア	水：1.5ドル（117円）	水：150円

8. 注意事項

○貴重品の管理は個人管理になります。厳重に行い、特にパスポートは絶対に紛失しないよう保管をしましょう。

○シンガポールの文化を受け入れ、マナー違反や自分勝手な行動がないようにしましょう。
○公共交通機関での移動中は他の人の迷惑にならないようにしましょう。

【空港において】

○出雲空港で預けた大きな荷物はシンガポール空港に到着するまで手元に戻りません。
○ペットボトル、金属類など機内持ち込みに制限があります（別紙参照）。
○出国審査までの時間は羽田空港国際線ターミナルからの外出は禁止です。

【ホテルにおいて】

○ホテルにはドライヤー・シャンプー、石鹼がバスアメニティで準備されています。それ以外で必要なものは各自で準備してください。
○健康管理に十分に注意し、定められた消灯時間には就寝してください。また、最終点呼以降に自室から出ることは厳禁とします。
○温度調節の可能な服装を用意してください（平均気温：東京 13°C シンガポール 27°C）。施設・交通機関内は冷房のため肌寒いです。長袖の準備を各自でしてください。

【保護者の皆様へ】

○旅行中の生徒動向について

- ・学校ホームページ上にて研修旅行中の様子等を掲載します。
- ・緊急連絡が必要な場合は、学校（08514-2-0731 080-2946-6730（夜間のみ））へ連絡してください。
ホームステイ時は現地スタッフを通じてホスト先へ繋ぎます。
- ・日本国内において病気等で旅行を取りやめる場合、保護者の方に必ず迎えに来ていただきます。その際は生徒カードに記載されている「緊急連絡先」へ連絡をさせていただきます。なお、送迎にかかる費用は保護者で負担していただきますのでご承知ください。

○その他

- ・パスポートの紛失に伴う発行手続き・現地での緊急入院などで滞在日数が延長する場合、追加で旅費を請求させていただく場合があります。
- ・飲酒・喫煙、無断外出、犯罪等の問題行動が発生した場合、学校が定める規定に則って指導を行います。
- ・11月18日（月）は16日（土）の振替休日となります。
- ・研修旅行中のスマートフォンの使用については、カメラ機能のみの使用に限ります。違反した場合は、校内の規定に則って指導します。

1 健康相談について

♦出発にあたっての心配事を明確にしておき、対処を考えます。

目的:学校行事を安全に実施することを目指し、個人に沿った適切な健康管理を行うため

期日:令和元年10月7日(月)15:40~

内容:健康調査を基に受診の必要性・アレルギーへの対応等について面談

結果:生徒本人へ通知

2 アレルギーについて

♦正確な情報提供が必要になります。

○「食べ物」に関すること ⇒ 調査票を基に、現地メニュー・機内食へ反映

○「食べ物以外」に関すること ⇒ ホームステイ時の資料としても使用

○エピペン(アドレナリン自己注射)⇒ 場合によっては、持参の検討をしていただきます

3 保険証と持参薬について

♦学校から投薬はできません。

○保険証 ⇒ 使用できる範囲は国内。取扱については、個人管理

○持参薬 ⇒ 各自で必要なものを準備

★例[酔止め・痛み止め・みり薬・目薬・お腹の薬など]

4 体調管理について

○出発まで ⇒

- 風邪をひかない
- 疲労をためない
- 生活リズムを整える

○旅行中 ⇒

- 体調に影響するもの
*気候 *疲労 *緊張 *排便 *気分の高揚 など
- 食事をとる・休養をとる

5 受診について

○国内 ⇒ 近隣の医療機関へ

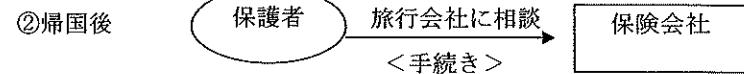
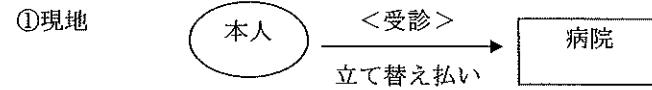
♦保険証を提示し、本人が現金で支払います。

○現地 ⇒

**♦個人が現地で立て替え払い
(帰国後に手続きをして清算)**

※お子様に持たせた現金の中で支払っていただきます

※現在、学校で全員が入っている保険の場合



[参考例]	<ul style="list-style-type: none"> ・一泊つきの診察 ➔ 2万円 ・日帰りの診察 ➔ 1万円 ・手術をした例 ➔ 50万円
-------	---

※ 任意 ※**♦旅行保険の追加をする場合には立て替え払いは、ありません**

※旅行保険の追加は、個人での手続きが必要になります。

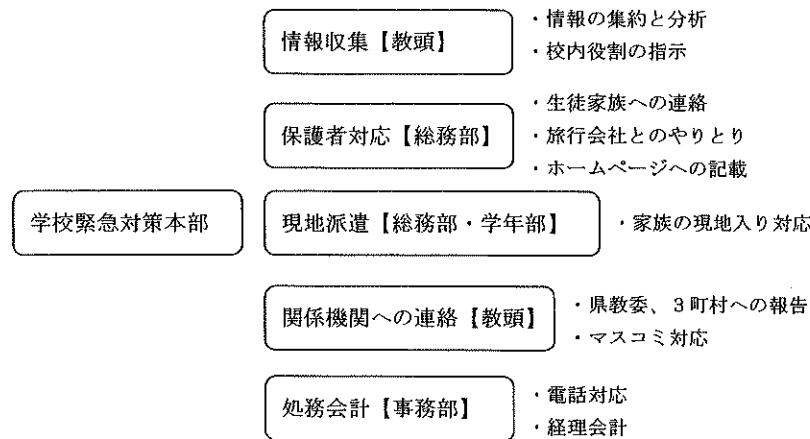
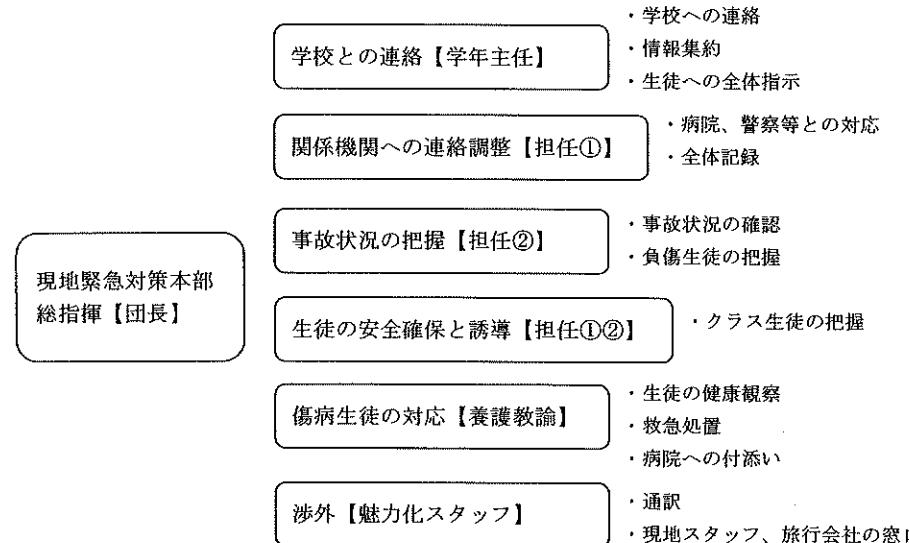
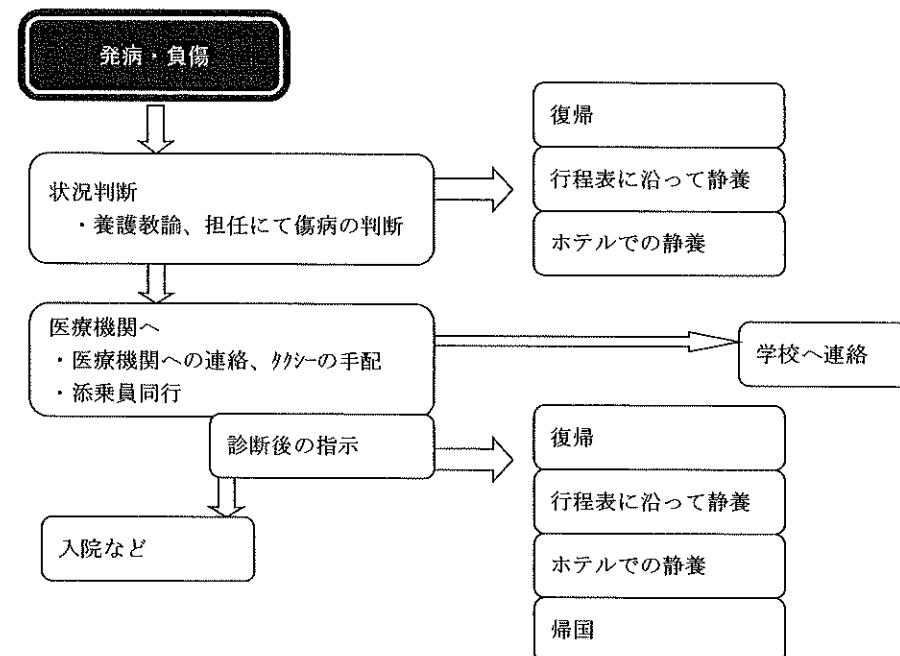
※1週間前までに、旅行会社へ申請。

6 旅行が継続困難になったとき

○国内 ⇒ 引渡し地点〔境港・出雲空港・羽田空港〕
まで、保護者がお迎え

○現地 ⇒ ①休養の場合:ホテルで待機など
②帰国の場合:要相談

海外研修旅行の安全対策

1 学校 緊急対策本部 【責任者：教頭】2 現地 対策本部【責任者：校長】3 傷病時の対応4 班別行動・企業訪問等での緊急連絡体制